



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ たす あ 仲良く助け合っ  
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが かつどう 活動を  
つづ 続けています。

# くろするろ〜ど

2021 / 5月号 第260号

かいほうし  
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



げっかん がつ  
〜サロン月間カレンダー〜5月〜

じっこういんかい しんいん き  
「実行委員会の新委員が決まりました」

4月25日に発令された緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことにもない、5月の活動は下記のとおり中止することになりました。活動再開（6月1日以降）の日程は、あらためてお知らせします。

少人数で集まる部会の打ち合わせ等については、これまでどおり手・指の消毒、検温、マスクの着用、部屋の換気等々の感染予防対策のご協力をよろしくお願いたします。

4月14日の実行委員会において、今年度のサロン実行委員会の委員が以下のように決まりました。

やくいん  
【役員】

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| かいちょう<br>会長     | わだ やすひろ<br>和田泰弘       |
| ふくぶかいちょう<br>副会長 | つつまばやしはつね<br>堤 林初音    |
| どうじょう<br>同上     | しまだ<br>島田ふみえ          |
| どうじょう<br>同上     | すえだけいじ<br>末田圭治        |
| かいけい<br>会計      | かに はるき<br>可児春樹・伊藤亮子   |
| かんさ<br>監査       | きくち かよこ<br>菊池加代子・笠間豊子 |

にほんごがくしゅうかい  
■日本語学習会

5月7日（金）～31日（月）の学習会は中止

じっこういんかい  
■実行委員会

5月12日（水）の実行委員会は中止

きょうじゅほうけんしゅうかい  
■教授法研修会

5月13日（木）の開始日を6月17日（木）に変更予定していた5回分は、7月29日（木）以降に実施

こくさい ふれあい かい (第2回目)  
■「国際ふれあい会 (第2回目)」

5月29日（土）の「国際ふれあい会」は中止

ぶんかこうりゅうかつどう と その ほか きかく かつどう  
■文化交流活動とその他の企画活動

しばらくの間、お休みします。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

にほんごがくしゅうぶかい  
【日本語学習部会】

- |                 |                  |                   |
|-----------------|------------------|-------------------|
| げつようごぜん<br>月曜午前 | ぶかいちょう<br>部会長    | えざわじゆんこ<br>江澤順子   |
|                 | ふくぶかいちょう<br>副部会長 | よしむら えみこ<br>吉村恵美子 |
|                 | どうじょう<br>同上      | きざきあやこ<br>笹崎綾子    |
| げつようごご<br>月曜午後  | ぶかいちょう<br>部会長    | かよう ゆみこ<br>萱生由美子  |
|                 | ふくぶかいちょう<br>副部会長 | さとう えいこ<br>佐藤英子   |
|                 | どうじょう<br>同上      | みやま きょうこ<br>三好京子  |
| すいようごご<br>水曜午後  | ぶかいちょう<br>部会長    | しまだ<br>島田ふみえ      |
|                 | ふくぶかいちょう<br>副部会長 | すえだけいじ<br>末田圭治    |
| きんようごご<br>金曜午後  | ぶかいちょう<br>部会長    | かんどう くにお<br>漢人邦夫  |
|                 | ふくぶかいちょう<br>副部会長 | こばやし ひろ<br>小林義弘   |
|                 | どうじょう<br>同上      | よしえ みゆき<br>吉江美幸   |
|                 | どうじょう<br>同上      | いとうりょうこ<br>伊藤亮子   |
| きんようよる<br>金曜夜   | ぶかいちょう<br>部会長    | わかき ゆたか<br>若狭 裕   |
|                 | ふくぶかいちょう<br>副部会長 | うえだ そのこ<br>植田園子   |
|                 | どうじょう<br>同上      | さいとう ひさこ<br>斎藤久子  |
|                 | どうじょう<br>同上      | なかの ひろこ<br>中野寛子   |



せ かい ぶん か  
**世界の文化**

にほんご けんしゅうぶかい  
**【日本語ボランティア研修部会】**

ぶかいちょう こすぎえいこ  
部会長 小杉英子  
ふくぶかいちょう さとうえいこ  
副部会長 佐藤英子

きかくぶかい  
**【企画部会】**

ぶかいちょう とうへいようこ  
部会長 藤平洋子  
ふくぶかいちょう いしだまさこ  
副部会長 石田正子

ぶんかこうりゅうぶかい  
**【文化交流部会】**

ぶかいちょう きとむら めぐみ  
部会長 里村 恵  
ふくぶかいちょう ありまけいこ  
副部会長 有馬圭子  
どうじょう やまくち  
同上 山口ヴァレリー

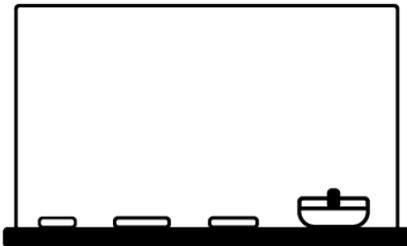
せいかつじょうほうしえんぶかい  
**【生活情報支援部会】**

ぶかいちょう くわじまむねとし  
部会長 桑島宗利  
ふくぶかいちょう のがわとよこ  
副部会長 野川豊子  
どうじょう はしだ ゆたか  
同上 橋田 寛

かいほうぶかい  
**【会報部会】**

ぶかいちょう つつみぼやしはつね  
部会長 堤 林 初音  
ふくぶかいちょう わだ やすひろ  
副部会長 和田泰弘

けいしゅうりやく  
(敬称略)



5月の「母の日」にちなんで、今月号のこの欄では、各国の「思い出の母の味」を特集します。ベトナム、中国、オーストラリアの学習者がそれぞれの「思い出の母の味」を寄稿してくださいました。じっくり噛みしめて味わっていただきたいと思います。  
(編集部)

 わす はは てづく どうふ  
**「忘れられない母の手作り豆腐」**

り えいがい ちゅうごく  
李 永艾 (中国)

中国における暗闇（闇鍋のような気味悪い）の料理をいうと、自分は迷わずに「臭い豆腐」を思い当てる。その料理は名前通りに嗅ぐと臭い豆腐である。この豆腐の作成・作りは普通の豆腐を正方形に切ってから湿気が多く日当たりがない部屋におけば済む。そして黴菌が豆腐に繁殖し始める。できた臭い豆腐はプルプルな見た目がなくなり、代わりに表面にはグレイの「毛」が生えていた。はじめてみて、気持ち悪かった。

臭い豆腐の料理は簡単である。焼くだけで食べられる。臭い豆腐を焼いて表面が黄色になれば出来る。そして、調味料につけて食べられる。もう一つは揚げてから水に入れて野菜と一緒に煮る。母が、揚げた臭い豆腐と豌豆の芽を煮て作った思い出のこの料理の味は忘れられない。

 あじ  
**「おふくろの味」**

ゲン ユオン (ベトナム)

昔からバインセオを食べたいとき、お母さんがよくお米をお水に一晩で寝かせて翌日の朝、市場へ碎米に持って行った記憶がまだ残っています。それでバインセオを作るのに準備時間がかかりましたが、その代わりにやっぱりお米からの昔のバインセオ

が新鮮でサクサクモチモチで美味しかったです。

今、日本に生活しているからこそ昔のお母さんの作り方で再現したいのですが、食材やお米やミルクミキサーなどを入手しにくいので難しいです。

私の記憶には幼いころからおふくろの味がまだ生きています。今、お母さんになっている私がおふくろの味が忘れられません。私にとって一番幸せなのは朝起きてお母さんの腕に抱かれて、外の事を何も心配なくお父さんから守られることです。

この間、花粉症のせいで2日連続微熱が出ていたので、息子と一緒に遊んだり絵本を読んだりできなかったのですが、花粉症が少し治ったらもっと息子への時間を作りたいです。

保育園のお友達や先生とのコミュニケーションを日本語で取っている息子ですが、うちで母国語のベトナム語を教えないと国のおじいちゃんとお祖母さんと会話できないと思っています。

思ってもいなかったコロナ禍で、丁度一年間在宅テレワークをしている私です。毎日の電車通勤時間を家事や息子との時間へうまく使っています。私の仕事で使っている机も毎日家族が食卓として過ごしています。

日本語だけでなく息子の母国語のベトナム語の単語も日々増えていく感じしています。新しい単語を発音したとき、聞いている度に面白くて幸せです。

在日ベトナム人として生活しているからこそ、毎日のご飯にニャットーベト(日越)の味を混ぜて作っています。それでパクチーが入っているベトナムフォーが大好きな息子です。多分故郷の味が分かってくれているかなあ。まだ小さいですが、お味噌汁や納豆やマヨネーズ付きサーモン刺身も気に入りました。色を美しく作るとかテーブルの上に飾る方法とか、お料理を味わうことにすごく気になっている息子です。

息子が大人になってから、今毎日食べているお味や家族の食事時間を忘れないようにしてほしいです。そして毎日一緒に食事をしていることが親子との連結ひもとしてどこへ行っても忘れられないと信じています。



## 「ママの思い出のフルーツケーキ」

ローレン カーニー (オーストラリア)

私の一番好きな思い出は、母と過ごすスクールホリデーでした。

ママはケアンズの観光業界で10年間働き、私と妹を多くのアウトドアアドベンチャーに連れて行ってくれました。グレートバリアリーフで泳いだり、ワイルドワールド動物園にも行きました。

スカイレール(ロープウェイ)とキュランダ列車に乗って、ママと一緒に過ごしたのは、素敵な時間でした。

私はまた、ママが仕事の準備をするのを見るのが大好きでした。彼女は大きな鏡の前でメイクアップをして、いつも美しく見えました。なので、私と妹はメイクアップとファッションが大好きになりました。ママは私に「親切で強くなること」そして一番大事な「独立する事」を教えてくださいました。

クリスマスホリデーの間、私はママが私たちの最大のクリスマスパーティーの用意で、毎日おいしいものを作って過ごしていた事を覚えています。私たちは家族の友人や近所の人に参加してもらうので、彼女はいつもファッジスライス、ジンジャーブレッドビスケット、そして彼女の有名なフルーツケーキ(みんながレシピを望むほどおいしい)を作るのに12月25日まで忙しくしていました。私は朝起きて、ママにその日何を作っていたのか聞いて、一緒に特別な料理を作りました。

そしてフルーツ(通常はマンゴーとサクランボ)とサラダサンドイッチを昼食に食べました。

パンデミックが終わったら、私はママの手料理を食べに、オーストラリアに帰りたいと思います。





わたし  
私のふるさと ~ 32 ~

にんじょう したまち  
「人情いっぱいの下町？」

きんようごご ボランティア かんど くにお  
金曜午後ボランティア 漢人 邦夫

下町という熱い人情とご近所さんとのしっとりとしたお付き合いで、うらやましく思われています。

でも、私が生まれた浅草はそんなレベルではありません。実家に戻ろうとすると、町の人が皆さん声をかけてきます。

「くんちゃん、元気かい？」

「ええ、なんとか。」

「たまには俺っちのどこにも顔だせよ、ね。」

と次から次へと声をかけてきます。誰もがです。下手すると、ずっと話を聞かないといけない羽目になりますので、返事もそこそこにさっさといかないと家にとどりつけません。お付き合いもほどほどにしないといけません。お嫁に来た奥さんは、慣れるまでとてもたいへんな思いをします。

旅行に行くと、ご近所へのお土産を20個も買わないといけません。そして、それを配る時にまたまた長々とあいさつしないといけません。すべて配るのに1時間はかかります。

でもそんな下町、浅草も私の親の世代の皆さんが亡くなられたり、引っ越したりで、ご近所はオフィス街に様変わり。土日は誰も歩いていません。そこで困っているのが、町会です。役員をしてくれる人がいません。

下町の最も風情があるのが、お祭りです。生まれ育った浅草橋界限は、鳥越神社の祭礼が有名で18の町がそれぞれお神輿を持っていて、その勇姿を競います。でも昨今は担ぎ手がないのです。こうなるとべつたりの下町が懐かしく思えてなりません。

因みに、私の町ではお神輿を「オラッ、ヤダッ」という掛け声で担ぎます。



とりごえじんじや さいれい  
鳥越神社の祭礼



い ぼな  
「WEB で生け花をしました」

文化交流部では集合しての生け花クラス開催が困難な現状の中で、参加者が各自宅で同じ花材を使って生けた作品をWEB上で披露するという取り組みを3月10日～13日の間に試してみました。以下参加者の声です。(文化交流部会)

◆浅井ローナ：久しぶりの生け花なのでドキドキしながら基本を思い出すようにしました。できたので嬉しかった。またやりたいです。

◆大橋ポンチャン：久しぶりの生け花をやってみました。ドキドキしながらやり直し、なんかいもしました。出来て嬉しかったです。時間が決めてありません。とっても良い生け花です。ゆっくり生けます。



おおはし ぼな  
大橋ポンチャンさんの生け花

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

◆ユオン グエン: 子どもは保育園から帰ってきたらテーブルの上に置いてある花器は変わっていたが、「あれ～これは何？」と驚いて、「パイナップルと人参じゃない？」のように花器をよく分かっていた。子どもが聞いたのに自分で答えました。府中市国際交流サロンのおかげでうちでお花を生けられて、子どもと一緒に楽しく時間を過ごした。この度はご活動をいただき、まことにありがとうございました。

◆進藤美津江: 数年前、古志野の茶碗を見て菊池寛美美術館へ行きました。入って正面に篠田桃紅さんの壁一面の“女”一文字の書に魅了されました。器に移したく花器を作りました。3月1日、桃紅さんは107歳で亡くなりました。久しぶりの生け花にこの花器を使って活けました。桃紅さんを偲んでいわくつきの花器に花を活けられて良かったです。

◆榎本フミ子: 枝振りと百合のバランスが難しくなかなか上手くできませんでした。一時間くらいやり直しました。主人作の花器を使ったので喜んでくれました。

◆吉村まみ子: 皆さんお元気ですか。フェイスブックでのお花の紹介、いいですね。花器の足元にモンゴル、富士山、平塚の石と府中の森公園の木の皮などあしらいました。バックに馬の飾りがあります。皆さんと一緒に生けたいです♪

◆堀内江梨子: 人生3回目の生け花です。花器は吹きガラスで私が作りました。

◆橋本せい子: カーネーション、ユキヤナギ、ハランの生け花、楽しかったです。また先生とご一緒に生け花を楽しめる日が来てほしいですね。

イレフ メフルズイさん (チュニジア)



おがたさだこ あこが  
「緒方貞子さんに憧れて」

2019年4月チュニジアから来日しました。首都チュニスから南に約160kmのキルアンで育ちました。冬に雪は降りませんが寒く、夏の暑さは摂氏47度にもなります。

高校時代に、将来国連で働きたいと思い、チュニスのカルタシ大学では修士課程まで法律を学びました。その間5か月程中国北京にある法律学校にも行きました。

大学時代に日本人の緒方貞子さんの国連難民高等弁務官としての活躍に心を打たれました。

それで、現在東京外国語大学の博士課程で勉強しています。専攻は「PCS (Peace and Conflict Studies) 平和構築と紛争予防の研究・教育」です。

世界のどこかで常に紛争が起きていて、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) は難民を助ける仕事をしています。イレフさんも卒業したら、国連で緒方さんのように難民のために働きたいと考えています。すでに自国語のアラビア語はもとより、フランス語、英語をマスターしているので、韓国語、日本語、スペイン語も勉強したいと思っています。

日本の文化も食べ物も好きで、折り紙で千羽鶴を作っています。出来上がったら、広島や長崎に届けたいそうです。(取材・文構成 堤林)

# わたし 私の☆つぶやき

## まんさつ しょうぞう 万札の肖像になってみました？

すいようごご すえだ けいじ  
水曜午後ボランティア 末田 圭治

コロナ禍の日々をどのように過ごしているか、また、これまでの日常と変わってしまったことなどについて、サロンの皆さまの「つぶやき」を特集します。

### か たいじゅう へ コロナ禍で体重が減った

すいようごご こいらい まきと  
水曜午後ボランティア 小岩井 雅人

#### か たいじゅう へ コロナ禍で体重が減った

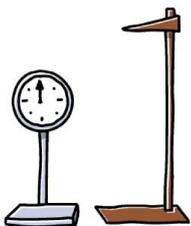
わたし さくねん がつ ていねんたいしよく むか  
私は昨年9月に定年退職を迎えたがこのご時世  
あと ねんおな かいしや つと  
で後5年同じ会社に勤めることになった。そして4  
がつてい き けんこうしんだん  
月定期健康診断があったが4キロ体重が減っていた。でもこれは心当たりがある。定期健康診断の1  
げつまえ にピラ配りのボランティアを引き受けて平均  
1日3万歩歩いたのである。後、夜はご飯はやめて  
うどんを食べた。なんと直前対策であるが4キロも  
減るとうれしい。体重が4キロ減っただけでなくウ  
エストが10cm細くなり首も1cm細くなった。お  
なか まわ にく うえ  
腹の回りのお肉が減ったせいで上にあったお肉がど  
んどん下に落ちたおかげで首が細くなったのだ。

コロナ禍で閉塞した日々が続いているがそんなときでも体重が減ると言うのは私の人生にとってかなりのアドバンテージでありモチベーションがあがるのだ。毎日楽しくない人、歩いてうどん食べて、一緒に痩せませんか。

きんきゅうじたいせんげん にほんごきょういく  
緊急事態宣言もあり、日本語教育は、オンライン  
(Skype)ですることが多くなりました。ブラジルの親  
戚が日本語を勉強したいとのことで、何年かぶりに、  
オンラインですが対面で繋がってコロナの状況な  
どを伝えあいながら日本語を教えています。

ベトナムの人にも教えています。その人が引越  
越すことになりました。そこで外大連携で作成した  
部屋探しガイドをさっそく活用して説明しました。

気晴らしに、知人のお店の支援も兼ねて、東京・  
北区の大河ドラマ館を訪ねました。そこでは「なり  
きり一万円札」というコーナーで、以下のように2024  
年度の渋沢翁の一万円より先に肖像に入りました。



# とう こう 投◇稿

## 「幸せをつかんだ少年の話」

きんようよる さとむら めぐみ  
金曜夜ボランティア 里村 恵

Highly Sensitive Person、略してH.S.Pという言葉を最近、耳にする事があります(子供の場合はH.S.Child)。これは非常に感受性が強く繊細な気質を持った人の意味で1996年に米国の心理学者エレン・アーロン博士が提唱した概念です。どの社会にも人口の15~20%はいると言われているその気質の特徴としては細かい気配りに優れ、対人関係において非常に良心的で相手優先、反面、自己否定が強い。ため他人と関わる事を避ける傾向があり、また競争させられたり観察されていると実力が発揮できなかつたりします。しかし豊かな情感やイメージーションを持ち合わせていて芸術方面に突出した才能を持つ事もあります。

私は数年前に心理学研究サークルでこれらの知識を得た時に、自身の近親者の中のある少年がこの気質に該当する事に思い当たりました。彼は幼い頃から神経質な子として括られ、着ている物が少しでも濡れたり汚れると日に何度も着替えたりし、また自分のおもちゃに興味を示す子がいるとすぐ譲り一緒には遊べないし、黙々と一人で空想の世界を絵に描いたりレゴで作る方が好きでした。

自己否定のエピソードでは、小学生の頃、彼はある時家族に「イベントの度に雨が降るね、雨男だね。」と言われた事を気にしたのか、遠足や郊外学習の事は努めて楽しみにしないようにしたそうです。自分が楽しみにすることにより雨が降ると思い込んだのです。それでも雨になると心の中で少しだけ楽しみにしちゃったのかと自分を責める気持ちだったとか。又、乱暴な子に対応できなくて通学をしぼり登校拒否にならないか、との心配もしました。

中学生になりチームスポーツ部に入っても、試合では自分が周りに迷惑をかけないかが気になり、実力が出せない、また、好きな運動でも皆に観られる運動会は大嫌いなど、決して楽しい日々を送って

いたとは言えませんでした。

高校生になり部活を選ぶ時にはかなり慎重でした。そして見学した時にこれこそ自分にはピッタリだ、心の琴線に触れた、と言って弓道を選択しました。個人競技である事や精神統一によって周りを気にしない修養ができたのか、それが功を奏し、めきめき腕を上げまたたく間に優秀な成績を残すようになりました。それと同時に自らに自信が持てるようになった彼は、自分は将来何がしたいのかも鮮明にもなったようです。そして好きだったプロジェクションマッピング作りなど映像関係を学びたいと思うようになり猛勉強の末、昨春M美大に入学しました。

自身の気質に沿った生き方を見つけた現在の彼は心を許せる仲間もでき、「今まで生きてきた中でこんなに幸せだと思えるのは初めて。」と青春を謳歌していて、これまでの家族の心配は嘘のように過ごしています。



## ゆらい ことばの由来

### にんきもの 「人気者のネズミ」

ねずみ いっぽんかてい すがた け わんぐらい  
鼠が一般家庭から姿を消したのは、この50年位のものではないでしょうか。今でも飲食街には現れるそうですが、戦前まではごく自然に存在する動物だったようです。

今でも、追い詰められたものを「袋の鼠」だから犯人はつかまると言う時に使われます。また、ショボンとなさけない姿のものを「濡れ鼠」のようだと言ったり、朝から晩まで忙しく働いている人を「こまねずみのように働いている」と言います。

江戸時代の和算に「ねずみ算」というのがあり、2匹の鼠が子どもを12匹産み、その子がそれぞれ12匹ずつ産むと何匹になるかという計算です。現代で

はこの様に子供をどんどん増やして、結局は親だけが儲かるシステムを「ねずみ講」と言い、犯罪ですので注意しましょう。

「窮鼠猫をかむ」とは、追い詰められた弱いものが逆襲をするときに使われます。

昔はねずみを捕獲するのに「ねずみとり」という道具があったのですが、今では、運転している人に気付かれないように、警察官が見えないところにいてスピード違反を取り締まる方法のことを言うようになりました。  
(編集部 堤林)



## ひろば みんなの広場

### 「国際ふれあい会第2回目のお知らせ」

4月24日(土)に、第1回目の「国際ふれあい会」を開催しましたが、第2回目を下記の要領で実施いたします。発表される学習者の方々は、クレモン・オータヴォアヌさん(フランス)、クリス・ダフィーさん(オーストラリア)、加藤エスメラルダさん(フィリピン)、長久保マリさん(中国)の4名です。

■日時：5月29日(土) 午後2時半～4時半

■場所：サロン学習室

注：緊急事態宣言延長のため、上記の「国際ふれあい会」は中止となりました。日程をあらためて実施する予定です。

(企画部会)

### 「新しい監事が決まりました」

3月31日をもって、伊野昌子さんと中村方里子さんが監事を退任されたことにともない、4月の実行委員会において、金曜午後のボランティアの笠間豊子さんと菊池加代子さんが新しい監事として承認され、着任されました。

伊野さん、中村さん、2年間のご担当、お疲れさまでした。笠間さん、菊池さん、これからどうぞよろしくお願いたします。  
(編集部)

### ～編集後記～

『くろすろ～ど』では、学習者さんの文をできるだけそのまま載せています。書きまちがいや意味とおらないところをご本人に確認したり、使い方のちがいについて話し合ったり、毎月の編集で学ぶことがたくさんあります。

日本語教師養成講座の実習で「レベルや意欲に合わせて直し、優しさで遠慮してはいけない。」と教わりました。「テキストの解説はだれでもできます。実際に日本人がことばをどう使うかを教えてあげられる先生になってください。」という講師の熱い指導を、今も心にとめています。どこまで直すかは、とてもむずかしい問題です。

書いてくださったかたの思いが伝わり、みなさんに楽しく読んでいただけることを願っています。

(岩城)

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤林・和田・岩城・末田・里村

【事務局】 電話：042-352-4178  
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp  
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

